

基本目標Ⅰ 創造する力と生きる力、感性豊かな子どもを育む

Ⅰ-1. 就学前の子どもたちが文化に触れる機会の重点的な創出

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)						
29	子育て施設課	人形劇の実施	I-1			○					各所で活動している人形劇団による、保育所11園および総合通園センターでの人形劇鑑賞。演目は「おひさま劇場」から2題(総合通園センターは1題)で、文化性の高い内容のもの。各保育所等で上演することで、子どもたちに鑑賞機会を提供する。	・感染症の流行期と重ならないように実施時期の調整が必要。 ・実施劇団の選定。	就学前の子どもたちが文化に触れる機会の提供に努める。											なし	人形劇団クラルテ	996	前年度のアンケート結果を反映出来ていた。事業の運営に関しては、所長代理会にて協議しながら、協働団体と内容等を決めている。	A		○	
29	文化国際課	きしわだアートプロジェクト 就学前児童へのアウトリーチ事業	I-1	I-2		○					アウトリーチ事業として、就学前の幼児が所属する施設にアーティストを派遣し、参加体験型の演劇ワークショップを実施。演劇の表現者が、子ども達の豊かな想像力を引き出し、アートに触れる感動や喜びを体感してもらう。 29年度から新規の取り組み、市立保育所2か所(参加者人数:51人)	開催回数の増。受入れ先と劇団との調整。	受入れ先の増を目指し、就学前児童の豊かな発想を伸ばしていくプログラムを提供していく。	○	○											570	今年度初めて着手した事業ということもあり、受け入れ先と劇団との調整に時間がかかった。しかしながら、保育現場で好評を得たことや、子どもたちの集中力、発想力を目の当たりにし、継続するとともに内容を充実させ、定着させたい。	A	○	○	
29	山直市民センター	図書館運営事業	I-1	I-2	I-4	○	○			○	図書館分館として、図書の収集、整理、保存等を行い、市民の図書館利用に供した。また、図書館利用の促進のため、展示、お話し会、イベント等を実施した。	これまで図書館を利用したことがない市民の利用促進を図る必要あり。	平成30年度から業務委託化された。						○		○		図書館	岸和田市子ども文庫連絡会等		市民が分館において、図書の貸出や資料の提供を受けるとともに、図書館行事を通じて、図書に親しむ機会を得ることができている。	A				
29	東岸和田市民センター	図書館運営事業	I-1	I-2	I-4	○	○			○	図書等の収集、整理、保存等を行ない、市民が図書館を利用しやすいようにした。また、利用促進のため、イベント等を実施した。駅前という立地を活かして、ビジネスコーナーを設け、特色を出している。	利用しやすい環境のより一層の整備及び利用促進のためのイベント等のより一層の充実。	市民センターの業務としての図書館運営事業は平成29年度で廃止となった。						○		○	一部のイベントについては、チラシを小学校で配布してもらった。	市内各図書館	旭図書館サポーター	0	図書等の貸出や閲覧を利用しやすいように運営し、利用機会の促進の為、イベント等を行なった。	A				
29	八木市民センター	図書館運営事業	I-1	I-2	I-4	○	○			○	乳幼児とその保護者向けのおはなし会を年9回、幼児～小学校中学年まで向けのおはなし会を年12回、春、夏、冬休みには工作等も行うおはなし会スペシャルを行った。また、図書館の利用促進のため、1日図書館員体験やクリスマスコンサート等の講座も行った。	より利用しやすい環境を整える。	なし(平成30年度から委託済)						○		○	図書館だより内容により町会回覧板や小学校等での配布も依頼	図書館本館	図書館サポーター	0(図書館本館での予算執行)	ほぼ計画どおりに実施	A				
29	桜台市民センター	図書館運営事業	I-1	I-2	I-4	○	○			○	図書館資料等の提供を通して市民の知る権利を保障するとともに、生涯学習を支援するため、図書館を運営する。(1)図書館利用状況:貸出図書冊数:計123,685 (2)行事の開催:親子や子どもたちを対象にした講座や行事	平成30年度よりスムーズに外務委託を実施するための十分な引継	平成30年度より外部委託						○		○				0	平成30年度より完全外部委託となり、桜台市民センターの所管でなくなるため、準備作業に時間をとられたためイベントの開催が困難であった	A				
29	春木市民センター	図書館運営事業	I-1	I-2	I-4	○	○			○	図書館職員による定期的な幼児向けの「ミニおはなし会」、図書館サポーターによる年3回の「おはなし会」、人形劇すまいるによる「春のおたのしみ会」の開催。図書館主催の成人向け講座、「お笑い行政講座」や公民館分館共催講座「親子でわらべうたを楽しもう」などを開催。その他利用者促進のため、季節や社会情勢に応じた来館者向けクイズを実施した。	幼児や小学生向けの講座は、より多くの参加者を確保するため、開催時間帯や日程、広報PR等に検討が必要。	市民センターの事業は29年度で廃止。						○		○					0	事業の運営に関しては春木図書館の特性を活かした内容を検討しており、おはなし会は継続参加の増加に繋がり、クイズの実施については、幅広い年齢層の参加があり一定の成果があった。	A			
29	図書館	読書活動事業	I-1	I-3	I-4	○	○			○	4か月児を対象に、絵本や子育てに関する情報をブックスタートセットとして配付している。市民団体と協働で、市内各図書館において、お話し会を実施している。また、市内小学校のうち22校を訪問し、お話し配達を実施した。	スマートフォン等のモバイル機器の普及により、子どもがその年齢にふさわしい物語に読み浸る余裕がなくなっている。	子どもが読書に親しむきっかけとなるよう、今後も、ブックスタート事業、市内各図書館におけるお話し会、市内小学校へのお話し配達を続けていく。	○	○	○	○		○		○		健康推進課、子育て施設課	岸和田市子ども文庫連絡会、図書館ボランティア「だっこ」等	2,161	ブックスタート事業、お話し会、お話し配達を実施することにより、子どもの健やかな成長に欠かせない、読書に親しむ環境づくりにつながっている。	A		○		

Ⅰ-2. 子どもたちに対する文化プログラムの充実

														文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体							
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続
29	生涯学習課	子どもの居場所教室事業(図工)	I-2				○			常盤地区公民館を利用し、長期の休み以外の毎週土曜日(第4土曜日は休講)2時間程度、図工教室を開講している。	継続的な指導者の確保。	子ども一人ひとりに感受性や社会性が身についていると感じられるような教室を目指す。	○	○	○			○			○					286	子どもが感受性や社会性を学ぶ場となっている。		A		○
29	生涯学習課	少年教室事業(ジュニアオーケストラ・陶芸)	I-2				○			子どもたちが余暇に、文化活動を通じて、仲間づくりと併せて友情を育み、豊かな心を養うことを目的に、少年教室を開講している。陶芸・ジュニアオーケストラを市立公民館で、長期の休み以外の毎週土曜日に2時間程度開講している。	公民館講座など、類似の活動との調整が必要。	子ども一人ひとりに感受性や社会性が身についていると感じられるような教室を目指す。	○	○	○	○		○								812	学校外で継続的に取り組める文化活動の機会として重要である。また、異年齢交流の中で、人への思いやりやコミュニケーション力が培われている。		A		○

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体								
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続
29	図書館	自動車文庫事業	I-2	I-3		○	○	○	○	○	図書館から距離のある地域に21ステーションを設け、移動図書館車で出向き、資料の貸出し、返却等の業務を行っている。また、蔵書の限られたチビッコホーム38か所、公共施設12か所には毎月、幼稚園13園には年3回配本を行い、その充実を図っている。	ステーションの中には利用の少ないところがある。移動図書館車が老朽化しつつある。	利用向上のため、中期的には、ステーションの見直しを図る。	○					○				○	なし	なし	16,150	図書館から距離があり、図書館に行くことが困難な市民に読書の機会を提供している。	A			○
29	生涯学習課	公民館親子文庫事業	I-2	I-3						○	読書を通した親と子、子ども同士がふれあいを深めるとともに、公民館活動の振興、充実をはかるため光陽、城北、光明の3地区公民館で開催。(新条地区公民館では市事業ではなくボランティアで開催されている)概ね週1回程度、1館あたり年間40回程度実施。図書の貸し出しや、読書会などに留まらず、お楽しみ会や、クリスマス会等の年間行事を各文庫で企画運営している。	子供の読書離れについて。後任のボランティアスタッフの発掘。	文庫間の交流の機会を持ち、運営にあたって、効果的な取り組みなどの共有を図る。	○			○						○		・光陽おやこ文庫 ・城北おやこ文庫 いずみの会 ・光明とんぼ文庫	219	地域に密着した形で運営がなされ、子どもたちの居場所として定着しつつある。また、地域の公民館でこの事業を行うことにより、図書館まで足を運ぶのが難しい子どもに対しての読書習慣の定着に効果がある。	A			○
29	八木市民センター	学級講座等運営事業	I-2	II-1		○	○			○	【定期講座】子ども書道(硬筆)、子ども書道(毛筆)、ジュニアアトリエパレット、親子ギター教室と4つの1年単位の講座を行った。 【公民館まつり】八木地区公民館の登録クラブ、女性学級、定期講座、自主学習グループの方が職員と協力して準備・運営を行った。 【その他】短期講座、高齢者大学、女性学級での講座を行った。	【定期講座】休みがちになる方が見受けられる。 【公民館まつり】高齢の方が多いため、準備・運営の負担が大きいという声がある。	内容を工夫し、より参加しやすく、充実したものにしていく。	○	○	○	○		○			○	内容により町会回覧板や小学校等での配布も依頼	生涯学習課(一部の講座)	公民館クラブ等(公民館まつり等)	1,330	特に公民館まつりは充実した内容にするとともに、参加者、主催者ともに、負担を小さくできる方法を検討。	A			○
29	生涯学習課	公民館まつり事業	I-2	II-1						○	日頃の活動成果の発表・展示の場、自主的な企画・運営の場や、団体相互及び地域と運営の場や、団体相互及び地域との交流の場、また、来場者に生涯学習のきっかけを提供する場として開催し、あわせて、公民館利用のなお一層の活性化を図る。	実行委員会形式で当課が事務局となり協働して開催しているが、役員の担い手の減少や行政と市民役割分担のあり方が課題である。	公民館まつりのあり方について、平成27年度、28年度に検討し一定の結論を出しているが、今後も引き続き公民館まつりのあり方、内容等について検討する。	○	○	○	○		○			○	公民館まつり実行委員会(市立公民館クラブ、利用団体)	43	事業の運営に関しては、実行委員会形式をとり、協議しながら内容を決めているが、上記課題がある。 ←(内訳)ゴミ収集8208円、駐輪場管理委託34560円(紙等の消耗品は按分不可能)	A			○		
29	山直市民センター	学級講座等運営事業	I-2	II-1	II-7	○	○			○	公民館の主催講座においては、受講者アンケート等を実施し、生涯学習課や他の市民センターと調整を図り、市民のニーズに合う講座や時代の変化に対応する講座、学級を開設した。	専従職員の確保及び職員の資質の向上	利用者団体との役割分担を明確にし、時代の変化に対応するよう見直しを図っていく。	○	○	○	○		○		○	地元町会・自治会回覧	生涯学習課	公民館登録クラブ等	1,577	地域住民が様々な学習を手軽に行える機会や場が提供できている。	A			○	
29	東岸和田市民センター	学級講座等運営事業	I-2	II-1	II-7	○	○	○	○	○	高齢者大学、家庭教育学級、女性学級、公民館講座等を実施した。	より公民館活動を充実していく。	利用者団体等と協議しながら、運営を行なっていく。	○	○	○	○		○			一部の主催講座等については、チラシを小学校等で配布してもらった。	生涯学習課	公民館登録クラブ等	1,652	市民の生涯学習の場を提供している。	A			○	
29	桜台市民センター	学級講座等運営事業	I-2	II-1	II-7	○	○			○	市民相互の結びつきと自主的な活動を支援するため、学級講座等を運営する	魅力ある学級講座運営	自主的な学習活動の支援継続、魅力ある学級講座の運営とともに、コストを意識した事業運営も必要	○	○	○	○		○			○	生涯学習課	公民館登録クラブ等	1,311	自主的な学習活動の意欲を高めていく事や、魅力ある学級運営と講座の開催を計画した	A			○	
29	春木市民センター	学級講座等運営事業	I-2	II-1	II-7	○	○			○	市主催の定期講座・単発講座(子育て支援講座、女性向けヘルスアップ講座、発声講座、夏休み子供向け講座、クリスマスコンサート等)・女性学級を開催し生涯学習や社会教育の場を提供している。第3回公民館分館まつり(社交ダンス・発表・展示)を開催し、地域住民へ公民館活動の理解を深め、地域交流、仲間づくりの場を提供している。	より多くの世代に公民館を利用してもらうため、夜学の開催や、空き室の開放事業も検討していく。	講座内容については、利用者のニーズに添った企画を検討するとともに、地域の特性を活かした事業を展開する。	○	○	○	○		○			○	テレビ岸和田の放映			1,709	事業の運営に関しては、生涯学習課や他の市民センターと協議しながら内容を検討している。次年度は公民館まつり実行委員会の設置に向けて調整が必要。	A			○
29	文化国際課	アートマルシェ	I-2	II-6	IV-1	○	○			○	市民が文化芸術にふれるきっかけづくりを目的としたワークショップ。8月と3月の2回開催。8月は子ども向け、3月は大人向けといったように、毎回講座内容を変えて実施。(参加者8月151名、3月166名)	人気のある講座に申込みが集中し、講座によって申込み状況にばらつきがある。利用者の要望に沿いながら、バラエティに富む講座の設定が必要。	文化芸術に触れるきっかけとする事業で、多様なプログラムの充実を図っていく。	○					○			○		育成団体、当館を利用している教室、他	135	年々定着してきており、リピーターも多い。広報に力を入れて、新規参加者を増やしていきたい。	A			○	

I -3. 小中学校などの学校教育機関における文化事業の推進・充実

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体								
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続
29	産業高校	岸和田市産業教育フェア(デザインシステム科卒業制作展)	I-3				○			岸和田市立産業高等学校全学科の取組み紹介及び平成 29 年度に卒業するデザインシステム科の生徒による作品展と舞台発表(ファッションショー)。3年間学んだ集大成として、クラスで統一テーマを決め企画・広報・運営などクラス全員で取り組む。在籍生徒、家族をはじめ、広く社会に向けて鑑賞の場として提供している。	舞台発表の開演前、終演後の観覧者誘導について、よりスムーズに行えるよう、これまでの実施状況を踏まえ改善していきたい。	今後さらに来場者にわかりやすい作品展示を追求し、3年間学んで身につけたデザインに関する知識や技術の集大成の表現の機会とし、常に改善を行いデザイン科の取り組みと、生徒一人一人の表現の場として活用していきたい。	○	○	○				○	○		○				0	企画・広報・運営等すべて生徒が行い、クラス全体がひとつになって進めることができる。作品・舞台発表ともに満足できる結果となった。	S			○

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体								
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続
29	選挙管理委員会	選挙常時啓発事業 啓発ポスター募集	I-3				○				岸和田市内の小・中学校及び産業高校に対し、明るい選挙啓発ポスターコンクールの作品募集を行い、募集作品を庁内にて展示、入選作品については府民センタービルに展示している。	岸和田市内の各学校に依頼をしているが、参加する学校にばらつきがある。	今後も継続して事業を行い、明るい選挙に向けた啓発を進める。	○	○	○			○	○		○		なし	公益財団法人 明るい選挙推進協会 都道府県選挙管理委員会連合会 大阪府選挙管理委員会	60	毎年多数の応募があり、明るい選挙について推し進めることができています。		A		○
29	人権教育課	人権教育・人権啓発事業	I-3				○		○	* 人権を守る作品展、巡回人権を守る児童・生徒作品展、いじめ問題啓発児童・生徒作品展	・子どもたちの人権意識の育成を図る	子どもたちの人権意識の育成を図るとともに、児童・生徒等によるポスターや標語を展示する「人権を守る作品展」などによる啓発を充実させます。	○	○	○			○			○		人権・男女共同参画課	岸和田人権協会	127	たくさんの市民の方が児童・生徒等の作品の展示を鑑賞してくださっている。大変、児童生徒の作品が素晴らしいとの感想をいただいている。		S		○	
29	学校教育課	読書活動事業	I-3				○			小中学校における読書活動をさらに推進し、児童生徒の読書意欲、読書習慣を形成することや、読書活動の企画や立案、読書活動への支援や相談、授業への資料提供を行う学校図書館コーディネーターの募集及び派遣。(小中学校各週2回程度)	中学校が週に1回しか派遣できていない	中学校に週に2回派遣する				○						学校だより		12,728	中学校への派遣が少ない。		B		○		
29	学校教育課	幼・小・中学校所属児童作品展	I-3			○	○			市立幼稚園、小学校、中学校に所属している児童・生徒の作品を、市役所の廊下で発表	期日通りの回収・返却に時間がかかる	HP等に掲載するなど、保護者を含む市民の方々に広く知っていただけるための活動の推進	○	○	○			○					広報広聴課		0	掲示作品を保護者等が観に来てくれる機会が増加している		A		○	

I -5. 子どもたちの文化活動への育成・支援

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体								
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続
29	文化国際課	チャレンジ支援事業	I-5				○			小・中学校のクラブ活動団体が、コンクールに参加する場合、本番に近い環境を経験することで、日常の練習の成果が本番に活かされるようホールの使用を提供する。平成25年度より実施している。平成29年度利用団体数は2、利用件数は7。	事業の対象がはっきりしているため、通知文を送付し、周知に努めているが、各校の関係者にどの程度周知されているか不明。	コンクールに挑戦する団体が、この事業を活用し、本番で日頃の成果を発揮されたい。										○	年に一度、対象校に案内文を送付			0	本番に近い環境を整え、提供できた。今後、利用団体参加をより促していきたい。		A		○
29	生涯学習課	フレンドシップコンサート事業	I-5	II-1			○		○	青少年音楽団体の研鑽と交流を図り、地域の音楽活動を推進するとともに、青少年文化の向上を図ることを目的とし、6月に浪切ホールにて開催している。参加団体(市内の学校や青少年による吹奏楽・合唱グループ等)で構成する実行委員会が企画・運営を行っている。	実行委員会による自主的、主体的な企画・運営を目指しているが、団体の役割分担の調整が必要。	より一層、参加団体が主体となり、企画・運営ができるようにしていく。	○	○	○	○		○				○		フレンドシップコンサート実行委員会	489	実行委員会形式で運営することにより、青少年と成人それぞれの活動団体の交流となり、青少年にとっては、未来の活動の支えとなっている。		A		○	
29	文化国際課	育成団体支援事業	I-5	IV-1			○		○	3つの育成団体(合唱・吹奏楽・演劇)の活動を支援し、団体の質の維持及び向上を図るため、指導者への謝礼を支払う。また、定期発表の場を設け、日常の成果を市民に還元するための公演を実施している。	団体が安定的に活動をしていくためには、一定数の団員数が必要。	各団体の活動が、当課の活動をこえて、市内の各所で展開できるべく、団体の存在や活動を広く知ってもらう。	○	○	○			○	○		○			岸和田市少年少女合唱団、岸和田市音楽団、マドカドラマスクール	1,440	臨時練習枠を増やし、団体にとって活動しやすい環境を整えた。今後も連携を蜜にしていき、支援を続けていきたい。		A		○	

I -6. 国際交流の推進

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体								
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続
29	産業高校学務課	高等学校教育振興事業	I-6				○				生徒10名、引率者4名を姉妹校である韓国特別市永登浦区漢江メディア高校に派遣。授業体験、フィールドワーク、ホームステイを通じ、親睦を深めるとともに異文化交流を推進した。	さらなる生徒数の増員が可能かを検討。	事業の内容を工夫、充実し、継続して実施する。				○									707	参加した生徒の満足度は高い。今後も継続して実施する。		A		○
29	文化国際課	青少年海外派遣事業	I-6				○				青少年海外派遣事業として、姉妹都市である米国サウスサンフランシスコ市へ青少年14人を派遣した。各場面において、パフォーマンスの実施や、現地高校生との交流を通じて、異文化理解を推進している。	全体スケジュールの都合上、限られた事前研修・練習回数で一定のレベルに上げる必要がある。	この事業を通じて、青少年が国際交流に積極的に参画するとともに、岸和田市の文化等の魅力を再発見できる事業としたい。				○		○		○		学校教育課・岸和田市立産業高等学校	岸和田東ロータリークラブ	4,459	全員合唱、グループでの盆踊り・岸和田市についての発表を行った。ほぼ計画通りに活動を行い、青少年も限られた時間の中で精一杯成果を残すことができた。		A		○	

基本目標Ⅱ 輪を広げる

Ⅱ-1. 発表・鑑賞機会の充実

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体											
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続			
29	市民病院	ロビーコンサートの実施	II-1							○	市民病院ロビーの空間を使い、主に入院されている患者様およびそのご家族を対象に、演奏会を開催することにより癒しのひと時を提供する。年2回開催。	院内からの鑑賞者が予想より少なく、今後、院内での周知・PR方法の検討が必要。	鑑賞者により楽しんでもらうよう、細かな課題を改善しつつ、継続して開催する。			○	○			○	○		○			病院ボランティアグループ、浪切ホール指定管理者	4	院内のあらゆる部署と協力し開催できている。	A			○		
29	自治振興課	平和推進事業 子ども平和映画会	II-1					○		○	児童及びその保護者に対し、映画を通じて平和の尊さを再確認していただく。今年度は、「みいちゃんの手のひら」「まっ黒なおべんとう」を上映し、会場では平和に関するパネル展示を行った。入場者数は672名。	少子化の影響もあってか、入場者数の減少がみられる。	今後も映画を通じて、児童や保護者に平和の尊さを再認識していただく事業の一つとして継続し、平和推進を図っていく。				○	○					○				1,638(総額)	参加者数は減少傾向だが、これからも若い世代に平和推進をしていく必要がある。	A			○		
29	自治振興課	巡回平和パネル展	II-1							○	市民センター5カ所と市役所新玄関の計6カ所で、「大阪大空襲と戦時中の市民生活」に関するテーマとしたパネル展を巡回した。	市民センターのロビー等に展示しているため、実際の来場者数を把握することが難しい。	市民にとって、より身近な施設で開催することで、多くの市民に鑑賞いただくとともに、非核平和への意識が高揚していく機会としていく。			○	○	○		○	○					1,638(総額)	ピース大阪から借用した資料を展示したため、有意義な展示になった。	A			○			
29	自治振興課	平和推進事業 非核平和資料展	II-1					○		○	高校生が描いた原爆の絵(広島平和記念館から借用)、平和バスの事業報告、現物資料、原子爆弾に関するパネル、小・中学生が書いた平和に関する作品、核兵器禁止条約条文の展示等を展示。また、オープニング式典では北中学校音楽部の合唱、朗読劇(サルビア)、ナガサキ・ユース代表団による講演会(非核協からの派遣)を実施。来場者数547名(延べ5日間)。	来場者数が減少している。	市民が「戦争の悲惨さ」や「核兵器の恐ろしさ」を知り、平和の尊さを認識してもらう。			○	○	○		○	○		○		平和を考える戦争展実行委員会	1,638(総額)	高校生の描いた原爆の絵を展示したため、若い世代に少しでも影響を与えることができたと思う。来年度以降もこれからの担う世代に対して、平和の大切さを発信していきたいと考える。	A				○		
29	人権・男女共同参画課	人権を守る作品展 開催事業	II-1					○		○	12月の人権週間に向けて、「人権尊重」をテーマにした作品(ポスター、標語)を募集して、入選作品を12月に「人権を守る作品展(会場: マドカホール)」で展示するほか、1月、2月に「人権を守る作品展巡回展示(各市民サービスセンター)」で展示。	一般市民の作品応募が少ない。	引き続き作品展を開催することにより、人権啓発が図られる。	○	○	○				○			○		人権教育課	岸和田市人権協会	110	作品の制作に取り組んでいただき、またその作品を展示し市民の方々に見ていただくことで、様々な「人権」に触れ、大切なことに気づききっかけづくりとなっている。	A			○		
29	市民病院(経営管理課)	ギャラリーでの作品展示	II-1				○			○	市民病院の廊下にあるギャラリースペースに、就学前児童が作った美術作品を展示。就学前児童の発表の機会であるとともに、来院される方々には子どもの感性が活かされる作品を鑑賞する機会となっている。	展示作品入替え時のスケジュール調整	今後も引き続き展示を続けていく			○	○									0	来院された方で、立ち止まって眺めている姿をよくみる。子どもの季節に応じたかわいらしい作品に多くの方が癒されているのではと考えられる。	A				○		
29	文化国際課	岸和田市市展	II-1							○	美術に関する分野(洋画・染織・陶芸・書・日本画・写真・俳画)の公募展を行い、その審査結果を踏まえて、毎年11月に受賞作品のみを集めた展示会を行っている。29年度は同受賞作品展にて、姉妹都市韓国ソウル特別市永登浦区との合同作品展を行った。(2年に1度実施) 市展:総出品点数419点、総来館者数3,026人 受賞作品展:出品点数71点、来館者数458人	出品者の高齢化。若い世代の出品数が少ない。	若い世代の出品を促す。展示部門の組合せの見直し。	○	○	○				○		○	○				市展委員会	1,965	昨年度より出品点数、来館者共に増加し、見ごたえのある展示になった。	A				○
29	文化国際課	岸和田市文化祭	II-1				○	○		○	自主的に岸和田市民が行う文化活動の成果を発表する機会をつくり、発表者と鑑賞者相互の交流を深めることにより、文化活動に対する意識の高揚と、文化の振興を図ることを目的とする。展示部門/参加団体157団体・出品者数4,234人、舞台部門/参加団体93団体・出演者数1,771人、来場者総数19,792人	参加団体の固定化と伸び悩み。参加者も学生と高齢者で2分化されており、中間層の参加が少ない。	引き続き、教育委員会と連携して、幼児や小中学生の参加を継続していく。中間層の参加を促すために、後継者の育成が必要	○	○	○	○		○	○	○	看板、新聞折込み	教育委員会	文化祭実行委員会 文化祭サポーター	2,212	昭和23年から続いている文化祭は、市民の文化活動の成果を発表する場として定着しており、参加団体も多く、一定の成果をあげている。	A				○			
29	文化国際課	第30回マドカ合唱祭	II-1	II-5				○		○	市内各所で活動している合唱の団体に、発表の場を提供するとともに他団体との交流を促進し、合唱活動を盛んにする。また、オープニングには一般の個人が参加できる機会を設けている。平成29年度は第30回の開催を記念して、活動し始めたばかりの男声合唱団2団体に協力を得て、特別編成の男声合唱団による合唱を行った。参加団体36団体(720人)、入場者数500人。	・参加団体には、本番当日の運営に参加してもらうが、ばらつきがある。 ・事業のPR ・観客マナーの向上。 ・出演者の高齢化	事業の内容を工夫、充実していき、合唱祭の活性化を図る。	○	○	○	○		○			○	テレビ岸和田の放送	なし	マドカ合唱祭実行委員会	190	事業の運営に関しては、実行委員会形式をとり、協議しながら内容を決めている。委員、また参加団体の意欲を高めていくため、仕組みづくりの強化が必要。	A				○		

Ⅱ-2. 高齢者、障害者等の文化活動の充実

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体									
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続	
29	図書館	障害者サービス事業	Ⅱ-2						○	視覚障害者に、年4回「新着図書案内」を録音し、郵送している。視覚障害者及び高齢等により文字を読むことが困難な人には、録音図書・点字図書を貸し出し、また、対面朗読を実施している。身体障害のため来館が困難な人には、資料を宅配又は郵送している。	対面朗読を受ける人が限られている。	視覚障害者、文字を読むことが困難な人の教養・レクリエーション等に資するため、障害者サービスを継続していく。	○				○		○				○		なし	岸和田市視覚障害者協会、朗読ボランティアひばり等	396	視覚障害者及び高齢等により文字を読めない人にとって、図書館の障害者サービスは、教養・レクリエーション等のため必要不可欠なものである。		A		○

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)					
40	29 障害者支援課	地域生活支援事業(ふれあい作品展)	II-2				○		○		障害者週間において、障害児(者)の作品を展示する作品展を開催し、障害児(者)への理解を市民に広めるとともに、障害児(者)の社会参加の機会を広げることを目的としている。	休日に開催してほしいとの要望がある。	作品展における作品展示等は、例年通り実施していくこととし、開催日程については今後検討していくものとする。	○	○	○	○		○	○		○	テレビ岸和田のテロップ放送	なし	(作品を出品する)市内小・中学校、支援学校	150	作品展の開催に関しては、本課で企画・運営を行っている。作品を展示する際は、本課職員、出品する各学校職員及び障害者により、相談、協力しながら円滑に展示することができている。	A		○
41	29 福祉政策課	介護予防事業【高齢者趣味の作品展事業】	II-2	II-7					○		高齢者(岸和田市内に在住する概ね60歳以上の者)の豊かな経験と知識を活かし、生きがいや文化水準の向上、社会参加の促進を図るため、趣味の作品(短歌、俳句、川柳、俳画、書、陶芸、写真、絵画、手芸)を募集し、11月8日～10日の3日間、浪切ホールにて展示を行っている。29年度は、出品者数 253人、出品点数 398点	限られた予算での事業のため、展示会場の設営準備作業等を外注できず、苦慮している。	更なる世代間交流(特に若い世代)を図れるよう、事業内容を工夫、充実していく。	○	○	○	○		○	○	○	○			同日程で、市老連主催の「秋の文化祭」を共催	450	幅広く認知された事業であり、継続していくことが必要。	A		○
42	29 福祉政策課	介護予防事業【生きがいと健康づくり推進事業】	II-2	II-7					○		高齢者(市老連に加入する単位老人クラブを対象)の社会活動や地域活動、スポーツ・文化・娯楽活動等の健康増進活動を促進を図っている。また一部では、世代間交流を目的とした「お餅つき」や「七夕笹飾り」なども実施されている。(延べ参加者8, 727人)	趣味の多様化のため、一部では、限定された参加者での活動となっている。	主体的に活動する人員への支援、育成及び世代間交流を図る。	○	○	○	○					○	○		市老連及び他の単位老人クラブ	2,990	各単位老人クラブにおいて、低予算のなか、創意工夫を図り実施している。	A		○

II-3. 国内外の演奏家や芸術家による演奏会や展覧会の開催

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)					
43	29 文化国際課	文化の日の祝典	II-3	IV-2						○	11月3日文化の日に、本市の文化教育の振興に貢献いただいた方々の功績をたたえ、祝典を開催。1部では功績のあった方々への表彰式、2部では関係者以外も鑑賞できる記念コンサート「みんなで楽しく！クラシックコンサート」を開催。1部出席者数249人、2部入場者数300人。	祝典を広く周知するため、一般の方も関心を持てるような記念コンサート企画が必要。	若い方の表彰も増えてきており、熟年の方との文化交流も活発になればよい。また、「文化の日」にふさわしい事業を企画し実施していくことで、文化の推進に寄与していく。						○		○	○		教育委員会	岸和田文化事業協会	315	2部では、本市やその近隣で活躍している若手演奏家が出演し、よく知られているクラシック音楽を中心としたコンサートを行ったため、来場者が多かった。	A		○

II-4. 文化団体への支援

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)					
29	文化国際課	文化団体支援事業	II-4							○	特定のジャンルに限らずに包括的な取り組みをしている岸和田市文化協会、岸和田文化事業協会の活動を支援し、多くの市民が参加できる取り組みを協同して推進している。	後継者となる若い世代の育成が必要	各文化団体の特色を生かした活動を今後も継続し、団体の活動内容を広く知ってもらう。	○	○	○	○			○	○	○			2,410	団体活動の一部を支援できた。	A		○	

II-7. 生涯学習の推進と地域コミュニティの活性化

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)					
29	図書館	図書館まつり開催事業	II-7				○	○	○	○	年に一度、市民団体と協働で図書館まつりを開催し、古本市、お話し会、図書貸出し体験、録音テープ作成体験、同人誌の展示等を行っている。	図書館まつりを担う市民団体の構成員が高齢化している。	図書館まつりの構成内容を、市民にとって魅力ある内容となるよう努めてゆく。	○	○	○	○		○			○	なし	岸和田市図書館友の会、岸和田市子ども文庫連絡会等	0	図書館を利用したことのない市民が図書館に来るきっかけづくりとなっている。	A		○	
29	図書館	読書会支援事業	II-7						○	○	読書会の会員が、一つの図書を読み、意見・感想を述べ合うなどして内容を深く掘り下げている。図書館は、同じ図書が会員に行き渡るよう、岸和田市立図書館だけでなくまかなえないときは、他市図書館から借り受けるなどして提供している。	読書会の会員が、固定化・高齢化している。	誰もが参加しやすい体制づくりを指導してゆく。	○			○					なし	若葉読書会、上松西読書会、星和台読書会	0	読書会に資料を提供することで、会員の教養・レクリエーション等に資することにつながる。	A		○		
29	生涯学習課	学び舎プログラム まちづくり実践プロジェクト「60歳から始める男声合唱の楽しみ」人生、これからが楽しい。さあ始めよう	II-7							○	市民が抱える生活課題や地域課題を市民自らが掘り下げ、その解決に向け生涯学習を生かした主体的な取り組みを委託する事業。仕事をリタイアした後、家にこもりがちな男性向けに初心者から始める男性のみの合唱。	委託契約終了後も主体的な活動を維持できるか。	29年度で委託終了のため、今後の自立した活動ができるか。	○	○	○	○		○	○		○	ハーベスト・コールきしわだ	96	毎年プレゼンテーションを経て委託事業として、採択された団体。60歳以上男性のみのコーラスという点においては、女性の利用が多い公民館にとって大変意義があった。	A		○		

基本目標Ⅲ　まちの魅力を高める

Ⅲ-1. 歴史や文化財等への理解の促進と活用

														文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体								
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続	
29	観光課	城周辺整備計画推進事業	Ⅲ-1							○	石畳と淡い街灯まちづくり支援事業により整備された岸和田城周辺地区において、「まつり前岸和田城下町イベント」や「岸和田藩食の宴」、まち歩きイベントなどのソフト事業を実施することで、交流人口の増加による賑わいの創出に取り組んでいる。「おおさか都市魅力・観光ネットワーク会議」へ参加し、大阪府との連携を図っている。	次期岸和田城周辺整備計画の策定	ソフト事業を継続実施するとともに、次期計画の策定については、市庁舎建替えの方向性がある程度見極められた段階で検討していく。				○	○		○	○	○	○		水とみどり課、郷土文化室	岸和田市観光振興協会 大阪府	0	市庁舎建替えの検討が進んでいる中では、本計画にとって大きな位置を占める現市庁舎がどのようなになるのかによって、対応が大きく異なるため、現在、計画は休止している。		A		○
29	郷土文化室	郷土資料等展示事業	Ⅲ-1							○	岸和田城展示室において、郷土の歴史・文化を主テーマとした展示を実施。常設展に加えて、年4回の企画展を開催。	事業の周知方法 展示内容の充実化	来場者に対して本市の歴史・文化を紹介することで、市民には郷土愛の育み、市外の方には文化財を通じて本市の魅力を周知していく。				○		○	○	○				439	来場者の増加のために、事業のPRを更に実施していく必要がある。		A		○		
29	郷土文化室	郷土文化普及事業	Ⅲ-1							○	市指定史跡捕鳥部萬墓に説明板を設置し、市民に広く文化財を周知し、身近に感じてもらうことができた。収蔵品台帳作成業務により、郷土文化室所蔵の収蔵品の台帳作成および整理作業を行う。	設置した説明板の周知。台帳作成を行った収蔵品の有効活用。	説明板を設置することにより、文化財を周知するだけでなく、観光資源のひとつとして活用していく。収蔵品の台帳作成を行い、郷土資料を広く公開し、郷土の歴史をより深く理解してもらえるように努める。				○		○	○					2,312	市内一円の文化財を面としてPRできるように説明板の設置箇所の再検討を行う必要がある。		S		○		
29	郷土文化室	濱田青陵賞事業	Ⅲ-1							○	平成 29 年度は、通常の授賞式、記念シンポジウムに加え、濱田青陵賞30周年記念事業として、記念冊子の刊行(合冊)、濱田青陵ゆかりの品の展示などを行った。また受賞者外村中氏がドイツ、ビュルツブルク大学の在籍のため、ドイツ総領事より祝辞をいただいた。	事業の周知方法 周知対象の拡大	考古学の学術文化賞では最高位の賞であり「考古学の芥川賞」と呼ばれる賞として、現在の認知度、ネームバリューを活かした、観客のさらなる裾野の拡大をめざす。				○	○		○	○		○	朝日新聞紙面		朝日新聞大阪本社生活文化部	2434	岸和田市が誇るべき学術文化賞であり、市の文化水準の向上に貢献している。また、朝日新聞社との協働により非常に低予算で実施できている。		A		○

Ⅲ-2. 伝統行事の保存・継承

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)					
52	29 観光課	だんじり祭支援事業	Ⅲ-2							○	観光客の受入れ体制として、イラストマップや交通規制チラシの作成や仮設トイレ、臨時駐車場等を設置。観客の安全確保のためのプラスチックフェンスの導入やゴミ問題対策としてクリーンキャンペーンの強化など啓発活動に努めている。	観光客の一極集中化 ゴミ・トイレ・駐車場などの受入れ環境の整備	観光客の受入れ体制を整えるとともに、だんじり祭を側面・後方から支援することによって、明るく楽しい市民の祭りにしていく。	○	○	○	○		○	○	○	○			岸和田市観光振興協会、岸和田地車祭保存会、祭礼各団体	39,868	伝統的地域文化の継承を図るとともに、市民はもとより観光客に気持ち良く楽しい祭と感じてもらえるよう、関係団体とも連携し、祭の一層のブランド力の向上を目指す必要がある。	A		○
53	29 観光課	だんじり会館指定管理事業	Ⅲ-2							○	だんじりに関するワークショップや講演会などの開催、「岸和田藩食の宴」などの市連携イベントに加え、「だんじりカット・編み込みスタイル」写真展や「だんじりタオル展」を実施し、各メディアにも取り上げられた。また、インバウンド事業として、泉州観光プロモーション推進協議会と連携しファミトリップを実施した。	入館者数の停滞 施設設備の老朽化	指定管理者と連携し、全国的に知名度のある「だんじり」という他にない資源を最大限に魅力発信し、年中通じて活用できるブランド化に取り組む。						○	○	○	○			岸和田市観光振興協会 祭礼関係団体	62,558	入館者数が伸び悩んでおり、だんじり会館の魅力を国内外に発信することで、一層の観光客の誘致に取り組む必要がある。	A		○

Ⅲ-3. 自然環境や景観との調和

29	環境課	環境保全事業	Ⅲ-3							○	・環境フェアの開催 環境の保全に関する展示等を実施することにより、市民等に環境教育及び啓発を行った。参加団体12団体、参加者数200人	環境保全に取り組んでいる、よりの多くの団体に声掛けをすることと、集客が課題。	環境に対する市民意識の高揚を促すため、今後も多岐にわたる分野での啓発を実施したい。		○	○	○		○	○	○	○		郷土文化室	環境保全に取り組む各種団体	303 (0)	参加団体等の啓発パネルや催しは計画どおり達成できたが、集客に難があった。	B		○
29	環境課	自然環境保全事業	Ⅲ-3							○	・里山ボランティア育成入門講座の開催 市民に自然環境の保全及び里山の再生を担っていただくため、現場で実習を行いながら里山保全活動に必要な基礎知識を習得していただいた。	本市の自然環境の保全の目標の一つでもある生物多様性地域戦略を効果的に進めるためには、市民及び事業者への普及啓発、新たな情報の収集及び整理、団体間及び地域間の連携が必要である。	多様な生物が生息する自然環境を未来へ引き継ぐため、今後も事業を継続する。						○	○	○	○		水とみどり課・農林水産課・学校教育課(神於山保全活用推進協議会で連携)	NPO法人神於山保全くらぶ	241	市民等が市内の豊かな自然のつながりを意識しながら自然環境の保全活動を行えるようになってきた。	A		○

														文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体							
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続
29	丘陵地区整備課	丘陵地区整備事業	III-3						○	本事業では都市・農・自然が融合したまちづくりを推進しており、事業の一環として丘陵地区に生息するフクロウをシンボルとして里山環境の再生保全を目的としてフクロウの森再生プロジェクトを実施している。自然エリアの良好な里山環境の保全と創出を目指して、ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会と協働で森林レクリエーションイベントを開催した。	・広報活動の強化	継続してイベントを実施することにより、市民の自然への関心を高める。					○		○						ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会	0	イベントを通じて、取組みの趣旨を伝えることには一定の効果があった。今後は市主導の運営体制から協議会主体で取組みを進めてもらえるような組織体制の構築が必要。		A		○
29	郷土文化室	自然資料館普及・展示事業	III-3			○	○		○	身近な自然の多様さを学び、郷土の自然と自然保護への理解を深め、地球環境や自然科学全般についての関心を高めるため、野外観察会や室内講座、展示等の事業を多数実施した。本年度は船の科学館による「海の学びミュージアムサポート」を受け、中学校科学部と共同での活動により、両者の連携基盤を構築した。	・就学前児童向けプログラムの充実 ・学校園との連携強化 ・活動内容の広報手法の改善	事業内容の質的向上および就学前児童向けプログラムの充実に取り組み、自然環境や科学技術、博物館に関心を持つ市民の増大を図る。	○			○		○			○			近隣博物館、NPO大阪自然史センター、きしわだ自然友の会等	6339	他の博物館やNPO等との協働の幅を広げることで、事業内容の多様化やネットワークの強化につなげている。		A		○	
29	都市計画課	景観形成事業	III-3						○	住み良い文化的で潤いのある美しいまちを創出するため、岸和田らしい景観を保全形成を目指す啓発事業の取組の1つとして、ここに残る景観資源発掘プロジェクトを実施している。平成29年度は、「水辺景観」について、応募件数67件の中から、まちかど審査(市内6か所延べ1185人)により9箇所を景観資源として指定し、PRを実施。	より良い景観形成に資する取組について啓発が十分であるとは言えない。	様々な情報ツールを活用して、広報を強化するとともに、観光・教育や環境部局との連携を図り、幅広い年齢層への啓発を図ってきたい。				○	○	○	○	○	○	テレビ岸和田番組表(Vision)	図書館	和歌山大学、観光ボランティア協会、商工会議所、テレビ岸和田	964	応募件数は開催年度によってばらつきがあるが、まちかど審査の参加人数は年々増加しており、今後も啓発に努めたいと考えている。		A		○	
29	都市計画課	歴史的景観保全支援事業(家屋修景助成)	III-3	III-5					○	住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区における家屋修景に対して支援を実施。	建築基準法の形態規制を遵守しつつ、本町の歴史的まちなみの特徴を備えた建築物に調和させることが困難な状況にある。	歴史的まちなみやこれと一体となり歴史的景観を形成している環境を保全し、住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区において家屋修景への支援を継続して行う。					家屋修景に対する助成	○				なし	歴史的町並み保全基金運営委員会	2,464	歴史的まちなみ保全地区において家屋修景を行うことにより、歴史的景観を形成している環境を保全し、住みよい文化的で潤いのあるまちの実現に寄与することができている。		A		○		
29	都市計画課	歴史的景観保全支援事業(団体活動支援)	III-3	III-5					○	住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区において景観啓発に寄与する団体(本町のまちづくりを考える会)の活動に対して支援を実施。本町のまちづくりを考える会では、4月に「にぎわい市」を開催したり、随時歴史講座等のイベントも開催している。	支援している団体における役員の高齢化が進んでおり、世代交代を模索するが円滑な役員就任がなされていない。	自主運営を基本としつつも、担い手育成や世代交代に関する情報を収集するなど、きめ細やかな情報提供を実施すべき。	○	○	○	○		○	○		○		なし	本町のまちづくりを考える会、歴史的町並み保全基金運営委員会	100	対象団体の支援を実施することにより、歴史的まちなみ保全地区における景観啓発が実施され、住みよい文化的で潤いのあるまちの実現に寄与している。		A		○	

Ⅲ-4. 文化施設の整備・充実

														文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体							
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続	
29	観光課	岸和田城管理事業	III-4						○	お城まつりの期間中の野点や邦楽の演奏会の実施、食と運動した「岸和田藩食の宴」などの集客イベントを実施。また、天守閣望楼においては、岸和田城ウエディングを通年実施している。また、インバウンド事業として泉州観光プロモーション推進協議会と連携し、ファミトリップを実施した。	利用者が伸び悩んでいる。施設設備の老朽化が顕著である。	指定管理者と連携し、イベントの企画実施や雑誌やメディア等を活用した情報発信を図り、安定した集客が期待できる施設を目指していく。				○	○		○	○	○	○		水とみどり課・郷土文化室	岸和田市観光振興協会	26,075	岸和田城は、本市のシンボルであり歴史・文化・観光の拠点として位置づけられており、関係機関とも連携し、岸和田城の付加価値を高める取り組みを行っていく必要がある。	A			○

Ⅲ-5. イベントを活用した魅力あるまちづくり

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)					
29	企画課	中心市街地活性化事業	III-5							○	岸和田市中心市街地活性化基本計画に沿って、各種事業を推進している岸和田TMO(商業まちづくり機構)、商工会議所等との共同事業として開催するイベントへの参画。	岸和田TMOとの関わり方や、部会事務局としての役割について整理が必要。	関係各課と連携し、中心市街地の活性化が図れるよう支援していく。	○	○	○	○		○					産業政策課・都市計画課	岸和田商工会議所	0 (TMO支援事業として産業政策課の支援有)	各種事業について、庁内関係部局での連携しているところではあるが、より効果的な取組を実施するため、更なる連携強化が必要。	B		○
29	観光課	観光振興事業	III-5							○	お城まつり、菊花大会といった季節に応じた観光イベントを実施した。また、情報発信の強化として、本市の観光施設やイベント情報などを提供するスマートフォン向けの無料アプリ「祭都きしわだnavi」の提供を開始し、観光客の利便性及び周遊性の向上に取り組んでいる。	魅力ある地域資源の利活用が不十分である。プロモーションをはじめとする効果的・効率的な情報発信が出来ていない。	平成28年度に策定した「第2次岸和田市観光振興計画」に基づき事業を推進していく。	○	○	○	○		○	○	○			岸和田市観光振興協会 岸和田商工会議所	21,908	近年の外国人観光客の増大など、観光を取り巻く状況は著しく変化しており、時流に対応した観光振興施策に取り組む必要がある。	A		○	
29	産業政策課	港振興協会助成事業	III-5							○	①「第65回岸和田港まつり」花火大会を開催。観客数約25,000人。 ②「巡視船体験航海」を開催。市民約150人が乗船。	花火大会の警備、設備費等の増大。	①平成30年度は中止となる。打上げ場所や実施手法等含め検討する。 ②岸和田海上保安署へ巡視船派遣の要望をする。						○		○	○	なし	なし	19,199	岸和田の夏の風物詩として定着しており、人気のある事業である。体験航海もたくさんの応募があり、抽選となっている。	A		○	
29	自治振興課	市民活動団体支援事業	III-5							○	市民フェスティバル・中央公園にて開催。参加団体に模擬店、展示、フリーマーケット、地場産業振興等の場を提供し、岸和田市民相互のふれあいの場とし、市民参加の祭りの場として豊かで暮らし良い町づくりに寄与し、地場産業振興に貢献することを目的とする。	事業を運営している実行委員会メンバーの高齢化が進み、担い手の育成が必要。	事業の内容を工夫、充実し、活性化を図る。	○	○	○	○		○				岸和田市民フェスティバル実行委員会	1,700	事業の運営、及び活動に対して補助金交付を行っており、概ね適正に活用している。	A		○		

														文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体									
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続		
29	農林水産課	農業振興事業	III-5			○	○			○	市民の農業に対する理解や認識を深め、農業振興に資するため農業まつりを開催する 農業者の表彰、展示即売会、試食会、ステージ企画等を行い、農林水産物の紹介、農林水産業の啓発と都市住民との交流等の機会の提供	・実行委員会と運営委員会で開催しているが、当日の参加と即売品の生産に協力しているが、まつりの準備等の体制協力が得にくい。	企画内容の工夫などをしていき、農業まつりの活性化を図る。		○					○			○	農協の広報紙		JAIいずみの・大阪府・農業委員会・農業研究クラブ協議会・果樹振興会・畜産連絡協議会・林業活性化地区協議会・春木漁業協同組合他22団体	2,000	岸和田市において農業は主要な産業のひとつであり、その振興は今後益々重要である。参加団体の意欲を高め、より協働できる仕組みづくりが必要。		A		○	
29	産業政策課	商工業振興事業	III-5	III-6						○	①地場製品や特産品の展示・販売を目的に、産業フェアを開催。来場者数は約7,000名、出展事業者数は35であった。 ②「演歌力」の発信を目的に、きしわだ歌謡祭を開催。入場者数は2,552名であった。 ③9月と10月のだんじり祭で物販。	効果的な集客やPR手法の検討	より多くの市民に地場産業をPRするため、集客等に注力しながら、事業を実施する		○	○	○			○		○	○	岸和田商工会議所広報誌、HP等	なし	岸和田商工会議所等	4,300	地場産業のPRIに、一定の効果があったと考える。		A			○

Ⅲ-6. 伝統工芸品の価値発信、新産業の創出

														文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体								
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続	
29	産業政策課	岸和田ブランド事業	III-6							○	岸和田らしさを備えた優れた産品を岸和田ブランドとして認定し、情報発信や販売促進を推進することで岸和田市の知名度向上を図っている。平成29年度は新たに2品目を新規認定し、21事業者22品目となった。イベントではコープフェスタin浪切、クイーンエリザベス号クルーズイベント等に出展した。体験の場として、認定品の工場を巡る工場見学ツアーと認定品を使った料理教室を開催した。	岸和田ブランドのロゴマークの周知専用ホームページの作成	岸和田ブランドのさらなる認知度向上のために施策を展開していく。			○	○				○	○	○	○	テレビ岸和田市政だより	岸和田商工会議所、大阪ガス㈱	202	岸和田ブランドの認知度のさらなる向上のため、多くの人の目に触れるように各種イベントへの出展を行っている。	A			○
29	産業政策課	中小企業支援事業	III-6							○	岸和田産の木綿を使用した商品の製作や販売を行い、木綿物語フェアを開催した。中でも、包近の桃で染めた綿製品の開発に注力し、平成29年度に完成した。また、兵庫県加古川市で開催された全国コットンサミットへ参加し、他の自治体・企業・団体等との意見交換や交流を行った。	商品の効果的な周知方法	引き続き、包近の桃で染めた製品の製作、販売に取り組み、岸和田の綿織物のPRを行い、繊維産業の活性化を図る。				○	○						夢つむぎ会HP等	なし	岸和田商工会議所、夢つむぎ会	358	かつて泉州で盛んだった繊維産業の活性化に寄与している。	A			○
29	産業政策課	伝統工芸品振興事業	III-6							○	大阪市内大手百貨店等での催事を開催した。展示、体験を実施し、売上向上と伝統工芸の周知を図った。	売上が減少しているため大阪市内大手百貨店での催事開催が困難になってきたので、他の方法を検討する。	伝統工芸である桐箆笥の周知や価値の発信に努める。			○	○	○				○	報道情報提供	なし	大阪伝統工芸品展推進委員会他	220	岸和田の伝統工芸の担い手が育っている。	A			○	

基本目標Ⅳ 未来へつなぐ

Ⅳ-3. 情報の収集、発信

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	自己評価	新規	継続		
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)					他団体(団体名等)	
29	全課	情報の収集、発信	IV-3							○	文化に関する公演・講座・各種イベント等を周知するため、広報活動として市内公共施設でのポスター・チラシの配架、HPでの告知に努めた。また、特に文化施設3館では、市内外の関連公演等の情報発信に協力している。	多種多様な情報の収集、発信の手法について検討する必要がある。	今後も継続するとともに、情報発信と収集の手法については検討が必要。						○							0	現在、各課が中心となって広報に努めている。また、文化に関する情報を発信する立場からはいかに収集と発信をしていくかを検討課題としていく必要がある。	A		○

Ⅳ-4. 文化振興基金の活用

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続			
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)						他団体(団体名等)		
29	文化国際課	文化振興基金の活用	IV-4							○	文化振興基金は、文化施設の修繕やソフト事業の実施に活用されている。現在、岸和田市ふるさと寄附金事業のなかの一つの選択肢として文化振興基金が位置付けられている。ふるさと寄附金事業を案内するチラシがあり、担当課が中心となって広報活動を行っている。(リハーサル室1グランドピアノ購入、アートマルシェ事業費、文化の日祝典記念事業委託料、本市育成団体の指導者謝礼)	原資の確保と、基金の周知活動。	寄附者の満足度を高めていく活用方法を検討していく。						○	○		○	○		企画課		3,075	現在、ふるさと寄附金事業の周知方法はチラシ・専用ポータルサイトがある。また、基金の活用結果も同様に行っている。	A			○